



特集 時代が彼にあこがれる

知の巨人 南方熊楠



安藤みかんとともに庭にある楠(くすのき)も愛し、訪れる人に自慢していた。



辻の餅本舗は創業天保年間。
(住所/田辺市北新町1、
電話/0739-22-1665)



餅の裏表に粒餡を盛ったおけし餅。
素朴な味わいに何十個と食べて
しまう人もいる。

甘党だった熊楠のお気に入りには、
和菓子屋「辻の餅」のおけし餅。懐
いっばいに買い込んで子供達にも
配ったという。おけし餅は現在
も当時と変わらぬ味と形
で、地元はもちろん最近で
は県外から買い求めにくる
人も多い。

「おけし餅」
懐いっばいに詰め込んだ

後半生の舞台、 田辺で感じる熊楠の息吹。

和歌山市、東京、海外と様々に放浪した
熊楠が、最後に腰を落着かせた地、田辺。
そこには現在もいたる所に熊楠の気配を残す。

「田辺新地」 通い詰めた

酒好きだった熊楠は田辺新地によく
繰り出した。日記にはしばしば、栄枝
お富などの芸者たちも登場する。栄枝
は妻の松枝とも親しかった。現在は料
理屋が数件残るのみだが、入り組んだ
路地には、酔っ払いの熊楠が今にも歩い
てきそうな風情がある。



田辺新地は、1920年に町内の
料亭を集めてできた田辺名所。

「安藤みかん」 今も守り継がれる

田辺市には、最後の25年間熊楠が住んだ
家が残されている。晩年の熊楠は、庭に実
る安藤みかんがグレイプフルーツの味に
似ていることに着目し、名産にすれば田
辺の農家がうるおうと接ぎ木を配布。残
念ながら普及に至らなかったが、今も冬
になると、庭には黄金色の果実が実る。



熊楠邸の庭の安藤みかん。

熊楠邸は長年、娘の文枝
が保全してきた。文枝亡き
後は熊楠存命当時の姿
に復元され、隣の南方熊
楠顕彰館とともに公開さ
れている。

「川湯温泉」 お気に入りの温泉は

植物採集の際、熊楠は各地の温泉地も
訪れた。特に気に入ったのは川湯温泉で、
河原の石の藻を熱心に採集した。また田
辺の銭湯にもよく
顔を出し、諸事情に
通じた地元民から
様々な情報を仕入
れた。その情報量は
膨大で、柳田国男に
して畏敬の念を起こ
させるほどだった。



川湯温泉は川のいたる所から
熱い湯が湧き出ている。



世界遺産、湯の峰温泉。
湯元一帯が天然記念物
ユネスコの自生地で、
熊楠も採集。

熊楠をもっと 知るなら。

南方熊楠顕彰館

熊楠の遺した資料や蔵書の保存・研究を進め、情報ス
テーションや学びの館として南方熊楠邸の隣に平成18
年開館。業績紹介の展示や所蔵資料のデジタル画像の
閲覧、粘菌の顕微鏡観察等、どのような研究をしたのか、
足跡を残したのかを気軽に理解を深めることができる。

住所/田辺市中屋敷町36番地 電話/0739-26-9909
開館時間/10時~17時(入館は16時半まで)
休館日/月曜日、第2・4火曜日、祝祭日の翌日
(土・日、休日にあたる場合を除く) ※臨時開館・休館有り



南方熊楠記念館

文献や標本類、遺稿、孫文から贈られた帽子や愛用の筆な
ど、貴重な品々を数多く展示。白浜の海を見下ろす高台に立
ち、360度見渡せる屋上からの景色は絶景。



住所/西牟婁郡白浜町3601-1
電話/0739-42-2872
開館時間/9時~17時(入館は16時半まで)
休館日/木曜日、6月28日~30日

